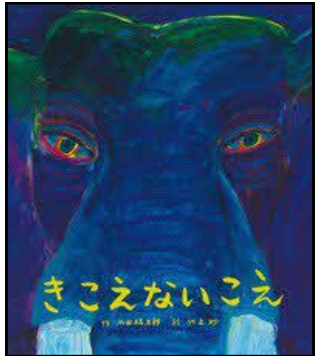


# とっておき!



『きこえないこえ』

りんたろう  
作/内田麟太郎

たえ  
絵/竹上 妙

E/ウ

佼成出版社

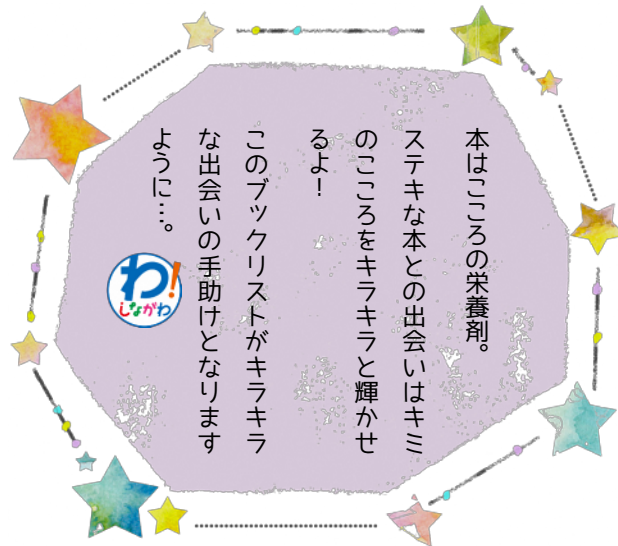


森にたくさん住んでいたゾウ。象牙ほしさに乱獲され、どんどん頭数が減っていきました。象牙が立派なオスがまず殺されていき、数えきれないほどたくさんいたゾウは、やがて25頭になり、7頭になってしまったのです。

こうしていつしか人間は森に来なくなり、年老いたメスと子どものゾウだけが残されました。2頭は体を寄せあっていたが、子どものゾウはとうとう死んでしまいました。残された最後のゾウは、岬の向こうにいたともだちを呼び、ともだちにしか聞こえない声で話しはじめましたが…。

これは、作者の内田麟太郎さんが、ある本を読んで感銘を受け、制作したというすばらしい絵本です。豊かな森に住んでいたゾウたちがどんどん減っていくという悲しい現実が描かれています。子どもたちと多くのテーマについて話すきっかけを与えてくれるはずです。ぜひ手に取って

みていただきたいです。



## 図書館おすすめブックリスト



キラ  
キミのこころに☆めきを☆

乳幼児



『やっときみを  
みつけたよ』

作/ 野ノ

E/ウ

訳・ユキ イノ+大浜千尋

ハ イノ+ナヨナル



女の子が公園で子犬と出会います。おたがいにゆっくりと歩みより、子犬との距離は、少しずつちぢまっていきますが、ある嵐の夜、すれちがいが起きてしまいます。女の子は子犬と再会することができるのでしょうか。

この本には文字がありません。でも、人間と犬との心のつながりが繊細でやさしいタッチで描かれています。そんな絵を見ながら、それぞれのストーリーを作ることできますよ。犬好きの方はもちろん、ペット好きの方にもおすすめです！

2024年春号

編集・発行：五反田図書館

0さい~

『キリンのソフィー はじめてのおさんぽ』

文/絵 とね さとえ 監修/SOPHIE LA GIRAFE S.A.S  
KADOKAWA

0さい~

SE/ト



フランスで人気の人形、キリンのソフィーが絵本になりました。ソフィーは、はじめてのおさんぽにでかけます。そしてさいごはつかれてしまって、お月さまといっしょにスースー…。きせつを楽しめる赤ちゃん向けの絵本です。

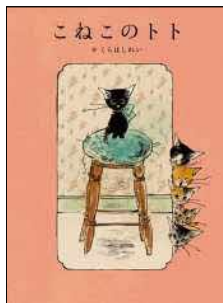
3さい~

『こねこのトト』

作/くらはしれい 白泉社

3さい~

E/ク



おんなのこのうちには、ねこが6ぴきいます。なかでもいちばん小さいくろねこがトトです。トトはごはんのとき以外、なかなか来てくれません。でもおんなのこがいっしょにあそぼうとしたらまさきに飛びついてきました。何をあそぶのでしょうか？

5さい~

『ウサギのソロモン、へんしんする』

作・文/ウィリアム・スタイ 訳/さくまゆみこ 徳間書店

5さい~

E/ス



ある日、ウサギのソロモンは、さびたクギにへんしんできるようになります。ところが、へんしんするところを悪いネコに見られてしまい、クギのまま、連れていかれてしまいます。はたしてソロモンは無事にかぎくのもとに帰ってこられるのでしょうか。

『そらめくんの こしょこしょこしょ』

さく/なかや みわ 小学館

1さい~

SE/ナ



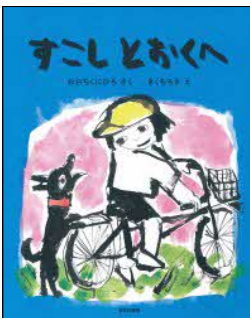
そらめくんが、おともだちとこしょこしょあそびをやりたいて。こしょこしょあそびを知らないおともだちにおしえてくれます。みんなもいっしょにやってみましょう。とっても楽しそうですよ。

『すこしとおくへ』

さく/おおちくにひろ え/きくち ちぎ あかね書房

3さい~

E/オ



いつもいっしょのぼくとくろ。きょうは少しとおくまで行ってみよう。くろがどんどん先に行ってしまうので、ぼくはひっしにおいかけます。そして海へ。でも、かえりはまわりが暗くなってきて…。ぼくとくろ、ぶじに帰れるのかな？

『あかいたまご？ だれのたまご？』

さく/アサヒ・ホル え/ウチー・チュウ アソノ やく/こみやゆう 好学社

5さい~

E/ホ



いけのほとりで巣をつくっていたオオバンが赤いたまごを見つけてます。これ、だれのたまご？ いろんな鳥たちが、巣をのぞきにきます。そして最後にあらわれたのは、ちいさな男の子。男の子は、あかいたまごがだれのものか知っているみたいですよ。

『なんのボタン？』

作・絵/ サタケシュンスケ 金の星社

2さい~

SE/サ



まちにはいろんなボタンがあります。さっそくおしてみましょ。エレベーター、しんごう、じどうはんばいき、バス。さいごのボタンをおしてみたら、あれ、まっくらになっちゃった。いったい何があるのかな？

『ねこまがたけ ばけねこしゅぎょうのやま』

作/加門七海 絵/五十嵐大介 編/東 雅夫 岩崎書店

4さい~

E/カ



やまにはねこの国があります。まちがえて人間が入り込んでしまったら、ねこにされて、ねこのためにはたかなければなりません。そんなねこの山では、修行するために全国からねこがあつまってきて、きびしい修行にはげむのだとか…。

『100ねんさきまでしあわせに』

文/タイ・ル・ライ 絵/ア・クイン・クワン / フィン・ホム・リン 訳/はっとり こまこ 富山房インターナショナル

6さい~

E/ク



アンのおばあちゃんは、ときどきいろんなことが思い出せなくなります。そこでアンは、おばあちゃんの生まれ故郷のベトナムで結婚式をあげたときに食べた大好物のおこわをつくらうとします。おばあちゃんはその当時のことを思い出してくれるのでしょうか。